

1

(6)	(5)	(4)		(3)	(2)		(1)
		Y X			Y X	⑤	
イ	ア	け	い	信	自	優	いぶじよく © し (みた)
		止	い	頼	分	越	
		め	聞	し	の	感	
		ら	き	て	生	に	
		れ	手	く	活	浸	
		な	に	れ	に	っ	
		か	は	た	侵	て	
		っ	な		入		
		た	れ				
			ず、				
			オ				
			ー				
			タ				
			の				
			気				
			持				
			ち				
			を				
			受				

2

(6)	(5)		(4)	(3)	(2)	(1)
イ	㊦	㊥	ウ	不	子孟浩然	聞 ^ッ 二啼
	疑	た				鳥 ^ッ 一
	間	く				
		さん				
		散				
		ッ				
		た				

3

(6)	(5)	(4)	(3)		(2)	(1)	
エ	イ	情の形にすぎない	特定時代の特定の中 で形作られた感	Y 興奮と感動	X 了解や認識	ウ	① 開拓 ② 貨幣

4

(3)				(2)	(1)
何をすればよいかわかりませんが、	やさしい言葉づかいに直す、最後に命令形で言い切り、	ろ。し。と言いい換えればよいと思います。一文を短くする、	「地震があった。津波が来る。すぐに高いところへ逃げ	私は、	アイ

100字